

【講座スケジュール】

時間	講座名	担当者
第1講座(60分) 14:00~15:00	アフターコロナに求められる 理想の就労福祉像	株式会社S・Yワークス 福祉活性化チーム チームリーダー 田中 貴士
第2講座(40分) 15:10~15:50	理想に近づくために 福祉事業所がまず行うべき 5つのポイント	株式会社S・Yワークス 福祉活性化チーム 高橋 潮
第3講座(60分) 16:00~17:00	Local Diversity Communityの実現へ 小さな事業所でもできる未来への一歩	株式会社S・Yワークス 執行役員 篠田 大輔

【参加料金】

お一人様 22,000円 (税込)

2セミナー参加のパック料金
33,000円 (税込)

～注意事項～

- お申込が必要人数に達しない場合、開催中止とさせていただきます。
場合がございます。
- その際はセミナー開始2週間前までにご連絡をいたします。
- セミナー申込み後のキャンセルのお申し出がある場合、7月20日以降のご連絡は、ご参加費用の50%、7月27日以降及び欠席は参加費用の100%をキャンセル料として申し受けますのでご了承下さい。

【お申込み・お問い合わせ方法】

電話

でのご注文



022-722-2007

■受付時間/9:30~17:30

ネット

でのご注文



<http://www.syw.jp>

syw

検索



FAX

でのご注文



022-722-1770

■受付時間/24時間

※別紙のお申込み欄に必要事項をご記入の上、送信ください。

コロナショックがもたらした社会変革

—福祉施設も新たな未来を描く時を迎えている

【Web配信対応】

8月7日10時~配信

就労福祉の

東京会場

2020

7.30

14:00~17:00

仙台会場

2020

7.31

14:00~17:00

顕在化した受託事業の限界。
新たな可能性を拓く時！

直販 × 受託

ハイブリッド化で
施設と利用者の
未来を創る

未来予想図

株式会社 S・Yワークス
担当：田中・高橋



【郵便番号】980-0811

【住所】宮城県仙台市青葉区一番町1-2-25 仙台NSビル8F

就労福祉は、障がいを持った方の人生を、命を輝かせる場。その原点に立ち返り、新たな可能性を拓こう！

我々が向かうべきベクトル

就労福祉の未来予想図 by S-Y works

地域が認め合い、ゆるやかにつながる“Local Diversity Community”



事業体として何を目指していくか？

今、私たちは未来への選択を迫られている。

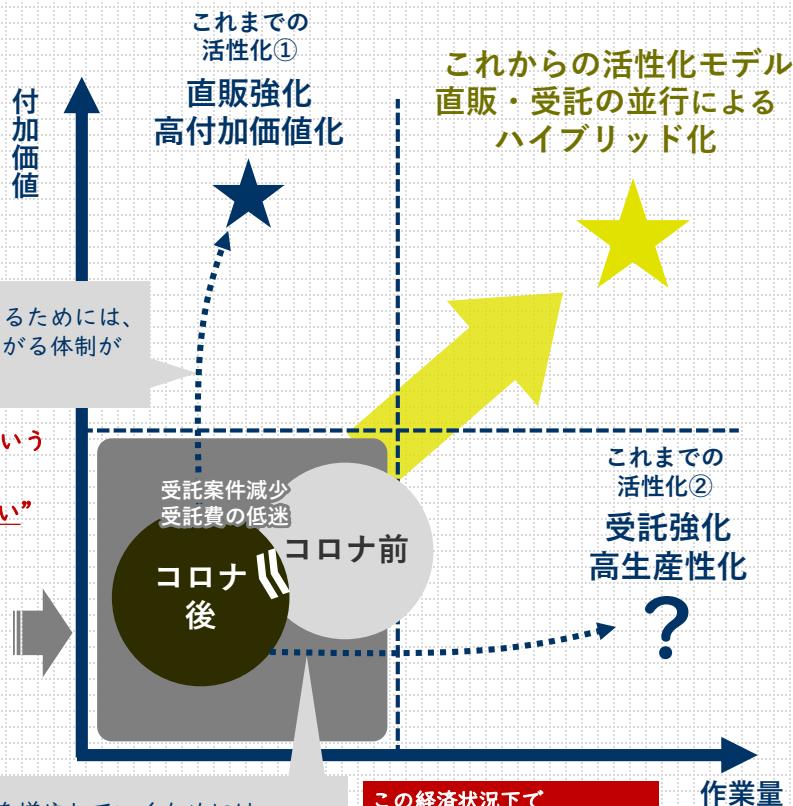
選択A 直販への挑戦
作業の付加価値を高めるためには、最終消費者に直接つながる体制が必要不可欠！

突破すべき壁
“福祉施設だから仕方がない”という常識の突破
“お店を構えないと直販はできない”という固定観念の突破

【現在】
新型コロナショックにより、受託先企業の活動が停滞。就労施設の作業もそれに伴い停止・減少してしまっている。

選択B 受託の活性化
作業量を増やしていくためには、受託先の増加と作業効率UPが重要だが…？

この経済状況下で受託先は増やせるのか？
作業効率の追求は利用者を幸せにするのか？



これからの施設の経営力を決定づけるのは、支援品質の深さとプロデュース力！

この両者をいかに組み立てていくか。事例を交えて徹底的にお伝えします！

【前提】高い支援品質を実現するために

工賃アップを一番の目的にしない！

利用者・職員が生きがいと幸せを実感できる施設にするために
すぐに取り組むべき5つのこと



—— コンサルティング改善事例



長野県の社会福祉法人の事例

長野県内でも圧倒的な支援品質を実現している法人である。経営理念の浸透による一体化組織づくりを行い、障がい者福祉施設における支援とは何か？ということ徹底に考えて、日々の仕事を常に見直す活動に着手している。左図は職員が参加する職員研修会の風景である。ここで私たちの仕事における喜びは何か？というテーマを利用者支援エピソードを交えて伝えており、更に仕事品質を磨くための実践事項を職員全員で生み出す時間にもなっている。

【未来へ】直販・受託事業の活性化のために

この人たちを応援したい！ 共感創造型プロデュース

受託・直販のいずれにおいても、福祉施設の顧客開拓は**共感創造活動**がベースになります。自施設の利用者一人・一つの商品をどうプロデュースしていくか。その力を持つことが重要です。



—— コンサルティング活動実績



宮城県のある施設の事例

仙台エリアの事業所に対するマーケティング勉強会を実施した。自施設の製造する商品を如何に付加価値をつけて訴求していくのかを考える勉強会である。この勉強会に参加した施設から既存の商品・業態を革新させる事例が数多く生まれている。皆で情報を交換しながら、共に学び合い、現実を変える時間をプロデュースしている。